

東京大学関連スタートアップ（2025年度） 累積創出数は743社になりました

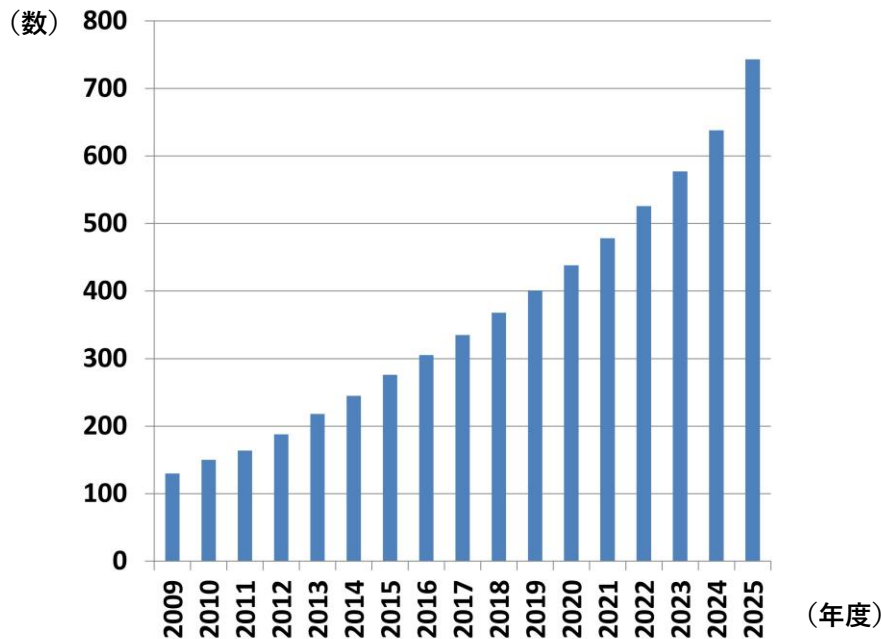
国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）は、2021年9月に発表した基本方針『UTokyo Compass「多様性の海へ：対話が創造する未来」』の下、グローバルな展開を視野に入れたスタートアップ・エコシステムの創成を進めています。

東京大学の調査によると、2025年度（～2026年3月末）までに把握できた東京大学関連スタートアップの累積創出数は743社（うち、IPO：累計39社、M&A：累計79社）となり、2024年度から105社増加しました。10年前と比べ450社以上創出され、その増加率も順調に伸びています（図参照）。

新産業を創出し、社会に変革をもたらす担い手として、大学及び大学発のスタートアップに対する期待は、ますます高まっています。

東京大学は「社会的価値の開拓者」として、よりよい社会の実現を担う起業を重視しています。今後、投資事業を行う子会社を通じて、また他大学や企業などを含む国内外の機関と連携して、スタートアップ支援を充実させていきます。

【東京大学 産学協創推進本部 ウェブサイト】 <https://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>



図：東京大学関連スタートアップ累積創出数推移

【参考】

東京大学関連スタートアップの定義について

東京大学関連スタートアップとは、以下（１）～（３）の３つの区分のいずれかに当てはまる新興企業（NPO 法人や社団法人も含み、海外に設立されたものも含む）を指します。

なお、今回、東京大学関連スタートアップの定義を以下のとおり整理しました。

（１）人材の関連性	東京大学の構成員（在学生や教職員等）が創業株主となったり、設立や設立後に深く関与するなどした新規企業（教職員や学生が退職、卒業した場合については、本学在籍中の活動が起業に深く関わっている場合に限り含む）
（２）大学の知の関連性	東京大学の構成員（在学生や教職員等）を発明人とする知財（特許やソフトウェア著作権）や、知財以外の東京大学における研究成果もしくは習得技術に基づいて起業した新規企業
（３）リソース提供の関連性	東京大学が提供する各種スタートアップ支援システムを利用して起業した新規企業や、起業後に東京大学から各種スタートアップ支援リソースの提供を受けた新規企業（各種スタートアップ支援システムには、各種教育プログラムや東京大学の子会社が提供するリソースも含む）（教育プログラムに関しては参加しただけではなく修了を確認できる者のみを対象とする）

【本件に関する問い合わせ先】

東京大学産学協創推進本部

E-mail : info@ducr.u-tokyo.ac.jp